

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 076	提案機関名 神奈川県酪農業協同組合連合会
要望問題名 神奈川県産オリジナル牛乳の市場における可能性評価	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 世界的な穀物需給のひっ迫による飼料の高騰は畜産経営、特に酪農経営では危機的な状況となっている。悪化する経営状態を好転するための一つの方策として乳価（生乳取引価格）の上昇を図る必要がある。そのため神奈川オリジナル牛乳を作成し、市場に有利な価格で提供することの検討を重ねている。 しかし、本当に「神奈川県産オリジナル牛乳」が多くの県民に支持されるのか、経営を好転することに必要な価格差が生まれるのか、研究課題として取り上げていただきたい。  (参考) 神奈川県産の鶏卵に対する選択型コンジョイント分析の結果を拝見しました。とても参考になりました。ぜひ牛乳でも取り上げてください。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	①、②、④の場合 畜産物の購買行動分析に関する研究（令和2年度）		
対応の内容等	参考にしていただいた調査では、県内在住の30～60代女性2,394人を対象に、鶏卵の産地や特徴を選択型コンジョイント分析という手法で50%の消費者が買っていいと考える価格を推定しました。その結果、鶏卵(M卵10個)は国産に対して神奈川県産は+19円の価格差でした。一方、鶏卵の黄身の濃淡の価格差は、薄い黄身に対して濃い黄身は+88円と産地以上に消費者は志向する特徴に、より価値を見出していると考えられます。「神奈川県産オリジナル牛乳」についても産地以外の消費者ニーズに即した特徴またはコンセプトを組み立てることが重要であると考えます。そのための調査についてはご協力させていただきます。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			